第108回東南アジア学会研究大会 （京都大学・対面を重視したハイフレックス）

2026/11/17作成

2026年12月12日（土）

	【A会場】稲盛333 （Zoom Room 1）			【B会場】共同棟C111 （Zoom Room 2）			【C会場】稲盛213 （Zoom Room 3）			【D会場】稲盛332 （Zoom Room 4）			【ポスター会場】 （稲盛1Fロビー/共同棟1Fロビー）
(8:45)	開 室			開 室			開 室			開 室			開 室
9:00–9:10	開会の辞： 土屋 喜生（会場校・京都大学）												
	【パネル1】 東南アジアの農業・農村変容: 東北タイ・ドンデーン村における長期調査から			**【自由研究発表第1セッション】** 司会:			**【自由研究発表第2セッション】** 司会:			**【パネル2】 Reorganizing the landscape of Islam and politics in Indonesia and Malaysia**			**OpenSEA ポスター発表**
9:15–9:50		代表: 河野泰之	京都大学	猛火油とは何か: 森林資源からみる阮朝ベトナムの造船	鈴木伸二	近畿大学	周縁地域における地域史構築に関する考察: タイ北西部各地における日本兵語りの比較を通して	岩井華代	京都大学 博士課程		代表: 水野祐地	アジア経済研究所	
9:55–10:30				協力と抵抗のあいだ: 阮仲合と19 世紀末のベトナム―フランス関係	多賀良寛	大阪大学	「整う」のその先へ: チェンマイにおけるウェルビーイングの実践	奥野衣莉香	京都大学 博士課程				
10:35–11:10 （パネルは ～11:15）				20 世紀初頭の仏領インドシナにおける天然痘対策: 種痘事業の地方展開を中心に	北田瑞希	大阪大学／日本学術振興会	北タイ カトリック共同体とはなにか	木戸七彩	京都大学 博士課程				昼食休憩の時間帯には 発表者による説明あり
11:15–11:50				19世紀ベトナム中部の農村社会における家族形態: フエ近郊蘇陀集落の事例	上田新也	広島大学	「力」をめぐる権威と身体実践: 中国徳宏タイ族における宗教的イレズミ	刀保媛	大阪大学 博士課程				
11:50–12:50	昼 食 休 憩												
	【A会場】稲盛333 （Zoom Room 1）			**【B会場】共同棟C111** （Zoom Room 2）			**【C会場】稲盛213** （Zoom Room 3）			**【D会場】稲盛332** （Zoom Room 4）			
	【パネル3】 ベトナム紅河デルタ村落における農村変容: 1990年代から2020年代			**【自由研究発表第3セッション】** 司会:			**【自由研究発表第4セッション】**司会:			**【パネル4】 Southeast Asian Studies Without Borders: Theory and Practice**			
12:55–13:30		代表: 柳澤雅之	京都大学	班洪事件をめぐる地方政治体系の作動と変容: アワ山地西北部を中心に	呂佳豪	大阪大学博士課程	台湾で働くインドネシア人ムスリム: 活発化する宗教活動	小池誠	桃山学院大学		代表: 今村真央 土屋喜生	山形大学 京都大学	
13:35–14:10				アフマド・ダフラン（1868–1923）の埋もれた思想：宗教間対話をめぐって	小林寧子	東洋大学客員研究員	バンコク・クロントーイ市場における都市を生き抜く交渉: エスニックな境界を越えるミャンマー人移民労働者に着目して	朴苑善	東洋大学				
14:15–14:50 （パネルは ～14:55）				戦時マラヤ、タイ領トレンガヌにて4 ヶ国語軍指示書が語る実態とは	鈴木雅斗	元市川市議会議員	ラオスの長距離バス事業者による不確実性への対処: 相互扶助・宗教実践に注目して	三宅千夏	京都大学 博士課程				
14:55–15:30				ジェノサイドで消滅した日本占領下アンダマン諸島のインド民族独立運動	杉本雄一郎	公益社団法人東京社会福祉士会	焼畑農業と労働移動の相互補完性: ラオス・ウドムサイ県の山地農村における家族農業の持続性とレジリエンス	東智美	埼玉大学				
	【A会場】稲盛333 （Zoom Room 1）												
15:35–15:45	受付：参加者ログイン後、名簿と照会のうえ、入室許可手続き												
15:45–16:45	**会員総会**												
16:55–17:55	**第24回東南アジア史学会賞授賞式・受賞記念講演** **田中 あき 「ベトナム近代の苦しみを照らし出す―カイ・フンという作家の存在」**												
	【D会場】稲盛332 （Zoom Room 4）												
18:05–19:05	**OpenSEA ライトニングトーク（LT）** **① 高羽玲理（筑波大学　学部生）「「パプア独立」をめぐる意味の多層性:「神に祈る」という語りに着目して」** **② 井川摩耶（東京大学大学院　院生・博士）「国家の外側で開発はいかに営まれるか――タイ・ミャンマー国境における越境と援助」** **③ 正宗凜久、藤原久人、斎藤彩葉、山下千歳、佐々木礼愛（宮城県仙台二華高等学校　高校生）「カンボジアにおける有機農業の現状と普及に向けた課題調査」** **④ 小仲美齢（京都大学大学院　アジア・アフリカ地域研究研究科　院生・修士）「誰が運動を支えたのか: タイ2020年民主化運動における『若者』言説と世代を越えた動員構造」** **⑤ 山内優奈（東京都立大学大学院　院生・修士）「日本における上座部仏教の積徳行と功徳の変容: 神奈川県北西部のカンボジア上座部仏教寺院を事例に」** **⑥ 南方謙志（神戸大学大学院　院生・修士）「国家とローカルの間を揺れ動く英雄崇拝: ベトナム南部メコンデルタの反仏運動指導者チュオン・ディンを例に」** **⑦ 市河里菜（上智大学大学院　グローバル・スタディーズ研究科　院生・修士）「カンボジアにおけるADHD概念の翻訳と地域社会の包摂」** **⑧ 伊藤恒輝、大澤司、藤野倫太郎（成城高等学校　高校生）「カンボジアにおけるトゥクトゥクドライバーの就業実態:シェムリアップ市およびバッタンバン市の比較分析」** **⑨ 緒方諒（慶應義塾大学　学部生）「地域の多文化共生実践をいかに記録・発信するか: 横浜市霧が丘のフィールドワークと一般読者向け冊子の制作」** **⑩ 樋口瑞妃（大阪大学　学部生）「流れる水と人: セブアノ語圏における泉へのまなざしの変化」**												
	【A会場】稲盛333												
19:15–20:30	**懇親会**												

2026年12月13日（日）

	【A会場】稲盛333 （Zoom Room 1）			【B会場】共同棟C111 （Zoom Room 2）			【C会場】稲盛213 （Zoom Room 3）			【D会場】稲盛332 （Zoom Room 4）			【ポスター会場】 （稲盛1Fロビー／共同棟1Fロビー）
(8:45)	開　室			開　室			開　室			開　室			開　室
	【自由研究発表第5セッション】 司会:			**【自由研究発表第6セッション】 司会:**			**【自由研究発表第7セッション】 司会:**			**【自由研究発表第8セッション】 司会:**			**OenSEA ポスター発表** 昼食休憩の時間帯には発表者による説明あり
9:00–9:35	「南洋」から「東南アジア」へ：中国における東南アジア研究の再編: 2006–2025年の研究動向を中心に	翟亜蕾（テキアライ）	京都大学	インディアス総文書館所蔵マニラ地図 Mapas y Planos–Filipinas, 10（1671年）について	澤村るり子	早稲田大学／日本学術振興会	シンガポールにおける「プラナカン文化」の観光資源化	黒田竜広	一	カンボジアにおける土地区分の形成過程: 土地の法的帰属をめぐる制度的課題	SOU YALY	京都大学	
9:40–10:15	グローバルなデジタル犯罪を支えるローカルな政治経済: なぜミャンマー＝タイ国境で特殊詐欺拠点の運営が可能なのか	岡野英之	近畿大学	Itinerant Scribes and their Manuscripts: Entangled Histories of Manipur and Burma	DEEPAK NAOREM	INDIAN INSTITUTE OF TECHNOLOGY–BOMBAY	遺体衛生保全技術はいかに葬送実践を再編するのか: インドネシア・トラジャ社会を事例に	佐竹真悠子	京都大学 博士課程	カンボジア人民党の派閥対立とその帰結: 党―国家関係を巡る論争を中心に	吉田篤史	京都大学 博士課程	
10:20–10:55	誰がチン州を代表するのか？：ミャンマー軍事クーデター後の抵抗勢力の分裂と正統性	垣原史歩	東京大学 博士課程	英領マラヤにおける教育政策からみたマレー人像の変遷: ジェンダーの視点から	坪井祐司	名桜大学	インドネシア・中部ジャワ州パトゥール村における犠牲祭のクルバン実践: 儀礼を支える背景に着目して	足立真理	立命館大学／日本学術振興会	権威主義体制下の選挙で市民はなぜ投票するのか？2026 年ベトナム国会議員選挙からの検証	Danh Hoang Thanh Nguyen	早稲田大学	
11:00–11:35	対立と不信のなかの民主主義―在日ミャンマー人の民主化運動における公共空間の形成	石川航	立教大学 博士課程	イギリス北ボルネオ勅許会社の企業統治1909–1946: 累積債務の事例研究	都築一子	一	ヨゴレを流し、ケガレを浄化する: インドネシア南スラウェシ州における生理ナプキンの処理実践と祖先信仰	浦野里彩	慶應義塾大学 博士課程	ベトナム仏教総会の仏教統一の試みとその頓挫（1951 年–1958 年）	金知雲	京都大学 博士課程	
11::40–12:15	脱植民地主義の台湾考古学: 日本統治時代台湾の出土陶磁器から考える	倭寛司	岡山理科大学	日本領事報告の東南アジア関係記事の特徴と概要	南原真	東京経済大学	わかれ道に立つエンデ人	中川敏	大阪大学				
12:15–13:00	昼 食 休 憩												

	【A会場】稲盛333 （Zoom Room 1）	【D会場】稲盛332 （Zoom Room 4）		
(12:45)	開　室	開　室		
12:50–14:50	**大会シンポジウム「世界的再編のなかの日本の東南アジア研究－次世代に向けた制度・拠点・戦略」**	**【パネル5】ミャンマー史における「1947年神話」の形成と解体**	代表： 池田一人	大阪大学
15:00–17:00		**【パネル6】「正統」と「非正統」の境界を生きる: 東南アジアにおける宗教をめぐる権威と実践**	代表： 西直美	同志社大学
17:00–17:10	閉会の辞：小林 知（東南アジア学会会長・京都大学）			

第108回東南アジア学会研究大会 OpenSEA

ポスター発表 一覧

1	董子昂（北海道大学　メディア・コミュニケーション研究院　教員） もう一つの「ゾミア」？：19世紀フランスのアナーキズム地理学にみる雲南
2	Naufaly Tito Salmarafi（大阪大学大学院　院生・修士） ジャワ戦争に関する地域伝承―スルヨンロゴ王子子孫の武術知識―
3	松尾春那（愛知大学　学部生） タイの山岳少数民族における育児放棄: 麻薬問題とその社会的背景に着目して
4	Mohd Faizul Ilham Ibrahim（京都大学大学院　アジア・アフリカ地域研究研究科　院生・博士） Emergent Ethnicities in Borneo: The Homogenisation and Institutionalisation of Adat for the Dusun of Brunei and the Saban of Sarawak, Malaysia
5	伏木香織（大正大学　教員） 寺廟におけるワヤン・ポテヒ: 芸能伝承における関係の重要性
6	高羽玲理（筑波大学　学部生） 「パプア独立」をめぐる意味の多層性:「神に祈る」という語りに着目して
7	井川摩耶（東京大学大学院　院生・博士） 国家の外側で開発はいかに営まれるか――タイ・ミャンマー国境における越境と援助
8	木坂公星（灘高等学校　高校生） カンボジア農村部の家庭の生計の脆弱性とその背景; カンボジアシェムリアップ州でのインタビュー調査をもとに
9	肖宇祺・濱陽貴・南日菜乃・Regina Carla Neola Setiadi Nio（慶應義塾大学　学部生） レンテンアグンにおけるアリサンの持続可能性について
10	Tan Yong Tat, Daniel（立命館大学　院生・博士） Regionalism in International Aviation Policy: Towards a truly integrated ASEAN skies
11	正宗凛久、藤原久人、斎藤彩葉、山下千歳、佐々木礼愛（宮城県仙台二華高等学校　高校生） カンボジアにおける有機農業の現状と普及に向けた課題調査
12	南條隆也、太田淳之介、大友董、山田夏央、木坂公星（宮城県仙台二華高等学校　高校生） カンボジアの地方の村ごとの生活水準比較
13	小仲美齢（京都大学大学院　アジア・アフリカ地域研究研究科　院生・修士） 誰が運動を支えたのか: タイ2020年民主化運動における『若者』言説と世代を越えた動員構造
14	山内優奈（東京都立大学大学院　院生・修士） 日本における上座部仏教の積徳行と功徳の変容: 神奈川県北西部のカンボジア上座部仏教寺院を事例に
15	南方謙志（神戸大学大学院　院生・修士） 国家とローカルの間を揺れ動く英雄崇拝: ベトナム南部メコンデルタの反仏運動指導者チュオン・ディンを例に
16	白濱大樹（大阪大学　学部生） 日本占領期の台湾・フィリピン・ジャワにおける科学研究：航空機用燃料ブタノールに着目して
17	田中　翔一郎（大阪府立豊中高等学校　能勢分校　高校生） 能勢分校　フィリピンスタディーツアー
18	解　ブン博（大阪公立大学大学院　院生・修士） メコン地域協力における制度の運営方式と事業形成: GMSとLMCの比較
19	市河　里菜（上智大学大学院　グローバル・スタディー ズ研究科　院生・博士） カンボジアにおけるADHD概念の翻訳と地域社会の包摂
20	赤澤詠子（正村詠子）（上智大学大学院　グローバル・スタディー ズ研究科　院生・博士） 食料調達と慈善からみる参与者としての高齢者：インドネシア・ジョグジャカルタ特別州の高齢者寄宿学校と近隣モスクを事例に
21	坂口月香（立命館大学大学院　院生・修士） カンボジアにおける国際開発NPOの「伴走型」教育支援の可能性: 外部支援が教師の主体的実践となる過程に着目して
22	南部優実（慶應義塾大学　学部生） 生活史からみる中央カリマンタン村民の開発経験: 生計戦略に対する意味付け
23	伊藤恒輝、大澤司、藤野倫太郎（成城高等学校　高校生） カンボジアにおけるトゥクトゥクドライバーの就業実態:シェムリアップ市およびバッタンバン市の比較分析
24	松岡怜奈（大阪大学大学院　院生・博士） 初期在仏アンナン語教育におけるキリスト教テキストの初歩的分析
25	緒方諒（慶應義塾大学　学部生） 地域の多文化共生実践をいかに記録・発信するか: 横浜市霧が丘のフィールドワークと一般読者向け冊子の制作
26	伊藤大華（慶應義塾大学　学部生） インドネシア独立記念日行事の地域的受容と再生産
27	樋口瑞妃（大阪大学　学部生） 流れる水と人: セブアノ語圏における泉へのまなざしの変化
28	THITHI LAY、CHEN ZHEXUAN、ZHANG HAN、LIU XIAOLU（城西国際大学　教員） 留学生のAIアプリ利用による日本語能力向上の効果検証および分析
29	趙雯喬（立教大学大学院　院生・博士） 「性」の深淵と「越」の高峰を通じて「性命」へ: 映画『衝鋒: 火拼』における都市空間の構築原理
30	田中瞳子（京都大学大学院　アジア・アフリカ地域研究研究科　院生・修士） 法の空白を生きるロヒンギャ難民: マレーシアにおける生存基盤の構築と難民ガバナンスの変容
31	高橋　香琳（大阪大学　学部生） マジェリス・ズィクルにみる現代インドネシア・イスラーム
32	松本優希（慶應義塾大学　学部生） 変化の中にあるジャムウ; 中部ジャワ州スマラン市ウォノロポ「ジャムウ村」における伝統の再編とその担い手
33	Rizky Aurelia Putri Dehars（上智大学大学院　グローバル・スタディー ズ研究科　院生・博士） 日本における「他者」としての宗教：　インドネシア人ムスリム移民と日本の世俗主義の間の宗教教育をめぐる交渉
34	牧野秀志（慶應義塾大学　学部生） インドネシア人大学生による日本へのインターンシップ送り出しのプロセス　―ジョグジャカルタの高等教育機関を事例に―
35	榊 奈都子（大阪大学　学部生） 教育を通してフィリピンの貧困を考える
36	矢元貴美（大阪大学 教員） 保育園におけるインドネシアをテーマとした文化体験活動の実践
37	土屋陽和　（上智大学大学院　グローバル・スタディー ズ研究科　院生・修士） トゥール・スレン虐殺博物館における展示企画と学芸員: 記憶の場はいかに作られるのか
38	齊藤 若葉（筑波大学大学院　院生・修士） 「多文化共生」の現場で考える: 在日ベトナム人と地域社会の関わりについて
39	戸部遥太（名古屋大学大学院　院生・修士） カンボジアの土地法制近代化における日本型法整備支援の役割

第108回東南アジア学会研究大会 OpenSEA

ライトニングトーク（LT） 発表者一覧

1	高羽玲理（筑波大学　学部生） 「パプア独立」をめぐる意味の多層性: 「神に祈る」という語りに着目して
2	井川摩耶（東京大学大学院　院生・博士） 国家の外側で開発はいかに営まれるか——タイ・ミャンマー国境における越境と援助
3	正宗凛久、藤原久人、斎藤彩葉、山下千歳、佐々木礼愛（宮城県仙台二華高等学校　高校生） カンボジアにおける有機農業の現状と普及に向けた課題調査
4	小仲美齢（京都大学大学院　アジア・アフリカ地域研究研究科　院生・修士） 誰が運動を支えたのか: タイ2020年民主化運動における『若者』言説と世代を越えた動員構造
5	山内優奈（東京都立大学大学院　院生・修士） 日本における上座部仏教の積徳行と功徳の変容: 神奈川県北西部のカンボジア上座部仏教寺院を事例に
6	南方謙志（神戸大学大学院　院生・修士） 国家とローカルの間を揺れ動く英雄崇拝: ベトナム南部メコンデルタの反仏運動指導者チュオン・ディンを例に
7	市河里菜（上智大学大学院　グローバル・スタディー ズ研究科　院生・修士） カンボジアにおけるADHD概念の翻訳と地域社会の包摂
8	伊藤恒輝、大澤司、藤野倫太郎（成城高等学校　高校生） カンボジアにおけるトゥクトゥクドライバーの就業実態:シェムリアップ市およびバッタンバン市の比較分析
9	緒方諒（慶應義塾大学　学部生） 地域の多文化共生実践をいかに記録・発信するか: 横浜市霧が丘のフィールドワークと一般読者向け冊子の制作
10	樋口瑞妃（大阪大学　学部生） 流れる水と人: セブアノ語圏における泉へのまなざしの変化